

草津白根山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

草津白根山では、昨日（23日）21時頃から湯釜付近を震源とする火山性地震が増加しましたが、本日（24日）日中になり減少しています。

その他の観測データには特段の変化は認められません。

引き続き、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺の窪地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

平成26年6月3日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。その後警報事項に変更はありません。

活動概況

・地震や微動の発生状況（図 1、2）

3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加し、その後、消長を繰り返しながら多い状態が続いています。

昨日（23日）21時頃から湯釜付近を震源とする振幅の小さい火山性地震が増加しましたが、本日（24日）日中になり減少しています。

火山性地震は 23 日 21 時から 24 日 15 時までに 164 回観測されました。火山性微動は観測されていません。

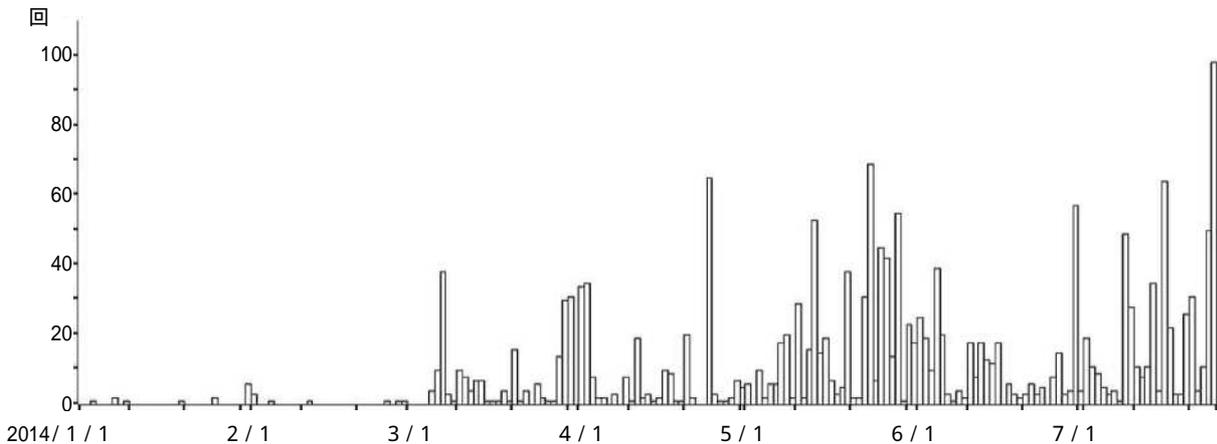


図 1 草津白根山 日別火山性地震回数（2014年1月1日00時00分～7月24日15時00分）

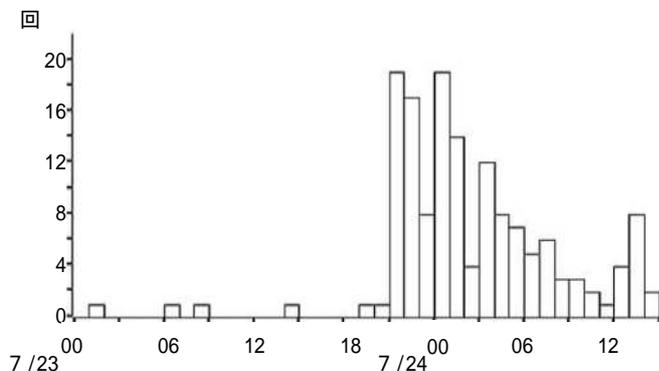


図 2 草津白根山 時間別火山性地震回数（2014年7月23日00時00分～7月24日15時00分）